

## 輝け！シン尾花沢中

第160号

令和8年

1月9日

まちのさかえは 国の富 はたらくものの よろこびを

## 「自分と仲間と先生と歩む3学期」3年代表 大山來実さん

1月6日（火）の始業式での、3年 大山來実さんの発表を紹介します。

今日から、中学校生活最後の3学期が始まりました。

3学期は短いですが、この時間をどう過ごすかによって、自分の行動や気持ちの向き合い方は大きく変わると思います。私は、この3学期を悔いの残らない時間にしたいと考えています。

私が、3学期に頑張りたいことは3つあります。

1つ目は、『3年間の勉強』です。

受験まで残された時間はわずかです。だからこそ、自分に合った勉強方法や対策を、仲間や先生方とともに探していきたいと思います。未来で後悔しないために、自分にできる最大限を尽くし、目標に向かって行動で示していきたいです。

2つ目は、『委員会での活動』です。

学校の中心となる学年が、2年生に引き継がれ、私たち3年生は、これまで以上に学校全体を支える立場になりました。卒業までの時間を大切に、日常活動や特別活動を通して、学校への感謝の気持ちを、行動で表していきたいと思います。

3つ目は、『自分が自分らしくいること』です。

受験を控える中で、不安になったり自分を見失いそうになったりすることもあると思います。だからこそ、自分の長所や短所を受け止め、自分自身を認めることを大切にしたいです。また、仲間にも思いやりをもって接していきたいです。

中学校生活最後の3学期です。『One For All , All For One～一人はみんなのために、みんなで受験合格というゴールのために～』という思いを胸に、笑顔で夢に向かえる学年だったと思える3学期にします。

來実さんも述べているように、3年生は『One For All , All For One～一人はみんなのために、みんなで受験合格というゴールのために～』を合言葉に、ここまで頑張ってきました。

一人ひとりの進路は異なりますが、仲間意識をもって進路達成に全力を尽くしていく強い気持ちが伝わってきました。

また、尾花沢中を愛する気持ちも文面からひしひしと伝わってきます。

残りわずかとなりましたが、「尾中生こうあるべし」という模範を後輩たちに示してください。

3年生にとって、充実した学期になることを心から祈っています。

【文責：校長 工藤雅史】

